

教養講座 地元学と考える

第四百四十四回「地元学と考える」
(二〇一五年十二月十九日開催)

「いいな広野、わが町発見
ーふるさと創造・映像教育
プロジェクトー」

講師 千葉 茂樹さん

今回の講師である千葉先生は、日本映画学校の特任教授です。人前で話すことを仕事としているためか、その語り口調はとても滑らかで、大変分かりやすいなあという印象を受けました。その内容ですが、主にシネリテラシーを用いた教育実践に関するものでした。シネリテラシーとは、映像制作を通じて自己表現力や協調性を育む教育手法のことを意味します。オーストラリア発のシネリテラシーを日本に導入した第一人者が千葉先生であり、いくつかの教育機関ではシネリテラシーを用いた授業を導入しているそうです。

講座では実際に中学校の授業で製作された映画を鑑賞させて頂きました。広野中学校の生徒たちがグループに分かれ、広野町にまつわる言い伝えや広野町の現

況など、広野町に関するものを取材するドキュメンタリー映画が主で、取材過程などといったオフショットをも映画に加えたような独特な作品もありました。子どもたちが取材・撮影に奮闘する姿は、大変素晴らしい。また、会場の方から「子どもたちが大人になったとき、当手を振り返ることが出来る貴重な作品になるのではないか、そして映画をつくったということが自信につながるのではないか」といった意見がありました。今だけでなく、大人になってからも教育効果が期待できるという点にシネリテラシーの更なる魅力を感じました。



当日は千葉先生の同級生の方々が数名いらしていただきました。八十二歳にして未だに同級生と親交があること、そして講座後のやり取りをみていて、千葉先生の朗らかな人柄があらわれていると思えました。あんな年のとり方をしたいなあ。(H・I)

また、会場の方から「子どもたちが大人になったとき、当手を振り返ることが出来る貴重な作品になるのではないか、そして映画をつくったということが自信につながるのではないか」といった意見がありました。今だけでなく、大人になってからも教育効果が期待できるという点にシネリテラシーの更なる魅力を感じました。

当日は千葉先生の同級生の方々が数名いらしていただきました。八十二歳にして未だに同級生と親交があること、そして講座後のやり取りをみていて、千葉先生の朗らかな人柄があらわれていると思えました。あんな年のとり方をしたいなあ。(H・I)

ふくしま公園測定プロジェクトのご紹介

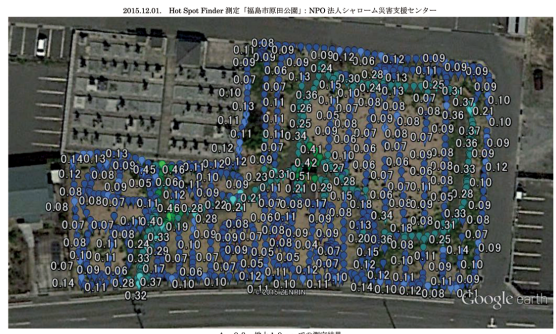
最新情報はこちらから！
シャロームホームページ内に特設サイトができました
<http://nposhalom.sakura.ne.jp/hsf/>



(写真上) 測定の様子

(写真中) 公園の地上10cmでの測定結果。色と数値で表示されるのでホットスポットが一目瞭然

(写真下) 測定結果。地上10cm,50cm,100cm それぞれの高さで測った放射線値(μSv/h)が表示されます。



NPO法人シャローム災害支援センターでは、子どもたちが外で遊ぶ際の放射線確認のため、公園での測定プロジェクトを始めました。Charch World Serviceというアメリカの団体を通じてご支援頂いた資金を使わせていただき、高性能の放射線測定器ホットスポットファインダーを利用しています。

公園では特に小さなお子さんも遊びますから、地表面の線量が気になります。10cmでの測定結果をメインに考え、より詳細に測定しています。結果は特設ホームページで公表するとともに、公園入り口にパネルを掲示し、公園を利用する家族に情報を提供する計画です。

震災から五年を経ようとしています。区切りと考えると、

「り」と考えがちな五年、十年では治まってくれないのが放射能汚染。ホットスポットなどへの追加除染を期待しつつ、正確かつ詳細に測定して情報を提供するのが不可欠だと考えています。幸い、福島市の公園緑地課さんは非常に前向きで、NPOが主体的に取り組もうとする被曝回避策を評価して下さっています。民間のアイデアとフットワークを行政が評価し、共に役割分担しながら市民生活向上のために動くこと。まさにこれから求められるべき官民連携の姿ではないかと、その意義の深さに感謝しているところです。皆さんも是非ホームページをご確認ください。お子さま方の健やかな成長発達のために資する情報を提供し、判断材料として頂ければ幸いです。

(災害支援センター・吉野)

データ記録中

GPS OK

- 14B0017 0.073μSv/h (165cps)
- 14B0016 0.073μSv/h (154cps)
- 13K0024 0.094μSv/h (171cps)

現在位置: 福島市原町公園
GPS接続 設定 記録停止